

8 管理運營業務に係る点検・評価

項 目	評 価	点 検 結 果
①利用者ニーズの把握・分析と利用促進 ・利用者ニーズの把握 ・利用者ニーズへの対応 ・施設の利用促進	A	・イベント毎に来館者へのアンケートを実施し、事業企画に反映させるよう努力している。 ・講座や企画展などが地元雑誌に取り上げられるなど、施設のPRが浸透しつつある。 ・施設の利用促進を図るため、地域関連施設との連携を進めるため、東阿波文化体験コンソーシアムに参加した。
②自主事業 ・計画した自主事業の実施	S	・収蔵品を活かすことにより、企画展や講座などを積極的に実施し、県民の興味・関心に大きく貢献している。 ・「続・発掘へんろ」は、四国内の埋蔵文化財調査機関が協力して企画展や講演会などを開催するもので、文化財の連携において先駆的な事業として県民各位より評価を得ている。 ・ボランティア組織の育成から活動支援までを一体的に実施するため「史跡ウォーキング案内ガイドプロジェクト」「万葉の草花を楽しむプロジェクト」「古代ものづくりプロジェクト」と3コースの事業を実施し、文化財ボランティア養成のための先進的な取り組みを行っている。
③適正な維持管理 ・施設の保守管理・修繕 ・年間作業計画に基づく適正な維持管理 ・県備品等の適正な管理	A	・県民利用の設備については、定期的なメンテナンスを実施するなど、適切に管理している。
④収支計画 ・収支計画の達成状況 ・コスト削減の状況 ・外部委託の状況	A	・体験学習など材料費が伴うものについては、あらかじめ基準を設け、利用者に材料費の一部負担をお願いし、コスト削減を図っている。
⑤管理運営体制等 ・管理運營業務計画書 ・職員の配置、研修計画 ・諸規程の整備 ・利用料金の徴収、減免 ・モニタリングの実施状況	A	・セルフモニタリングの結果については、毎月連絡調整会議で県に報告している。 ・職員に対し、人権研修やAED講習会などを実施している。
⑥職員体制 ・職員の労働条件	A	適切にイベント体験事業を実施するために、利用者サービスを対応する人員の確保に努めている。
⑦地域への貢献 ・地元雇用の状況 ・地元企業への業務委託	A	受付案内業務等にシルバー人材センターを活用しているが、派遣された方がアワコウコ楽ボランティアに所属するなど、二次的効果が表れている。
⑧地域との連携 ・地元団体等との連携	A	センターで養成したボランティアが活動できる場の提供するとともに、自立した組織としての継続した活動の支援を実施している。
⑨安全管理 ・安全管理体制、事故防止体制 ・災害等発生時の対応体制 ・マニュアルの整備、職員教育 ・個人情報保護への適正対応	A	・避難訓練と防火教育の一環として、消防職員による講話と消火訓練を実施した。 ・危機管理マニュアルを職員全員に配布し、周知に努めている。

項 目	評 価	点 検 結 果
⑩環境への配慮 ・環境対策の状況	A	適温を保てるよう館内の温度管理を行っている。
⑪その他 ・関係法令の遵守状況 ・情報公開請求への対応体制	A	・情報公開に関する規程を設け管理体制を整備している。 ・職員に配布し周知に努めている。
総合評価	A	埋蔵文化財の保存・活用を図り、県民文化の向上に資するという徳島県立埋蔵文化財総合センターの設置目的に沿って、指定管理者業務を適切に遂行した。

- 〈評価指標〉 S：協定書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
A：概ね協定書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われている。
B：協定書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫や努力が求められる。
C：管理運営が適正に行われたとは認められず、改善を要する。

※ 項目については、事業計画書と整合性をはかる。

9 その他（今後の課題及び対応等）

埋蔵文化財については、県民文化の向上、埋蔵文化財保護の観点から県民に広く公開し活用する重要性が高まっている。展示施設・研修室等の活動は、地元ボランティア団体と連携が図られ、ボランティア団体の自立に向けた支援も行われているが、より一層、施設の利用を促進する必要がある。